夕刊
磐城時報
廿九日
編輯兼發行 岡田弘成
印刷人
印刷所 加納活版場
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

世の無情に耐え兼ね 自殺を決意した藝妓
自殺の寸前救助さる 同情した平署で斡旋

内郷村大字宮高坂變電所職工川岸隆藏長女フミ（十七）は母に死別後繼母早坂ステの虐待から十三歳の時富山縣中新川郡東水橋町陽加樓小島芳次郎方に藝妓見習に住み込ませられたが、その後富山、東京各地を鞍替し本年一月東京市本所區向町州崎町藝妓屋稻田屋事柴田シツ方に前借五百圓で藝妓となつたが藝妓とは名ばかりで毎夜客を押しつけられ客がないと叱り飛ばされるので居耐らず二十七日夜自殺を決意し七寸余の短刀を買ひ求めたが、この世の名殘りに實母の墓詣りをするため上野驛から乘車し内郷村内町清光院境内の母の墓前に伏して現世の無情を訴へた後悄然と平市に入つて來た處を平署員に發見され目下平署に保護中であるが實父は目下東京市下谷區龍泉寺町で八百屋を營んでゐるので平署でも同情し實父に紹介した上平市周旋業長谷川辰之助氏に依頼し適當な處に藝妓に入れ更生の途を辿らせる事になつた。

小名濱漁業組合 組合長は水野氏か
役員全部留任決定

小名濱漁業組合總會は六月廿六日組合樓上に於て開催した、議案は

一、昭和十一年度事業報告財産目錄、貸借對照表、剰乘金處分案に關し承認を求むるの件

二、余裕金預入先に關する件

三、準備金、積立金事業資金に融通の件

四、一組合員に對し貸付け得べき最高限度決定の件

五、理事五名任期滿了に付き選任の件

等で一より四迄一瀉千里に豫定通り確定、議案の五理事五名選任の件は一般より注視されて居た丈けに片唾を飲んで結果を待つたがこれも平凡裡に選衡委員九名を擧げ（委員 中鐵、御代小野忠、馬上德、立花四、竹中、藤社大、高橋信、高橋忠）協議の結果前理事五名全部の重任と云ふ事になり漁業組合の新陣容には少しの變化も見せぬ事になつた。組合長互選はどうなるかが掛つて興味の中心になるが、大体に於て水野組合長の留任と云ふ處でけりになるではないかと見られて居る。

小名濱町の初町會

小名濱町初町會は二十九日開き二十四名の議席を決定し區長、區長代理を任命、商港第二期工事委員選定後諏訪神社に奉告祭を行ふ。

虚弱兒童の夏期保養

平市各小學校赤十字支部主催の虚弱兒童夏期保養が今年も八月三日から安達郡二本松町に開かれる事になつたので參加人選衡中である

平方部各小學校 陸上競技大會
參加兒童五百余名

石城第三區平方部小學校兒童の体育大會は七月二十四日午前九時から高月臺上に開催する事になり目下準備を進めてゐるが、出場校は市内四小學校を始め飯野、内郷、高坂、同第一、第二、第三、赤井第一、第二、好間第一、第二、小川、川前桶賣の十六校で約五百名の兒童が○權を爭ふ筈である

小名濱役場 制服制定

小名濱町では五ヶ年計劃で市制施行を目ざしてゐるが役場では能率增進を計るため來月一日から役場吏員の制服を制定する事になつた夏の制服は黑セルの上衣に白ズボン、冬着は上衣は包ボタンの黑色、下は縞模樣のスマートなものである。

磐炭從業員四千名に 一齊にボーナス
普通社員で十三割

磐城炭礦では昨冬再度の出水に災はれたが全從業員鋭意復舊に全力を盡したが最近全く復舊成り第二磐城長倉坑も着炭の運びに至り業績も挽回したが氣遣はれて居た半期賞與も社員十二、三割から雇員坑夫全從員四千名に二十八日午後から二十九日に亘つて支給されたので此處もと炭はホク〳〵の態である。

九割まで死亡する 傳染病發生
内郷に腦脊髓膜炎

罹病者の九十%は死亡すると言ふ恐るべき流行性腦脊髓膜炎が發生した。内郷村大字宮字竹ノ内本田ミツ子（一二）は二十七日發病、磐炭水上博士の來診をもとめた結果流行性腦脊髓膜炎と判明直ちに隔離病舍に收容したが二十八日午後遂に死亡した。流行性のため附近一帶は大消毒を行つたがウガヒ、マスク等が流行豫防として効果的であると。

塩屋崎沖合で 鰹三千尾漁獲
磐城丸活躍

小名濱水産試驗場磐城丸は二十三日小名濱出航目下鹽屋崎東方二百九十五浬の沖合で第五回目の鰹漁場の探査に從事してゐるが、二十八日鰹三千尾漁獲した旨の無電が試驗場に入つた。同船四回目迄の漁獲高は一萬尾を突破し嘗てない好成績である。尚ほ同船は第三回目の航海で遠洋漁業中餌不足で困つてゐる江名町諏訪丸に餌を給與しメバチ鮪等一萬尾を漁獲せしめた等指導船として感謝されてゐる

▲石城醫師會

平市の市制實施に伴ふ郡醫師會の機構變更に關する總會は昨二十七日午後二時より常陽銀行樓上に於て開催したが出席委任狀を併せ七十余名、協議の結果此際從來の郡醫師會より平市醫師會を分離創設せず、名稱を石城醫師會と改め、實質上從來通りとし相互の親睦と向上に向つて進む事になつた。

新川工事 潰地四町歩
きのふ地主會

昭和十二年度分工費七萬圓の内郷村新川下流の改修繼續工事は施工と決定し二十八日午後一時から内郷村家政女學校内に潰地の地主總會を開き協議する處あつたが夏井川改修事務所長の詮衡で委員を擧げて夫々折衝が行はれる筈であるが、内郷村の潰地は四町四段歩であると。

國語教員 研究會

縣下初等教育國語科協議會は近く福島男子師範學校に開かれるが、平市及び郡部からは左記訓導出席する。

☆讀方部　平第二草野光司　内郷第三但野正巳、大野添田政衛

☆書方部　平第一齋藤榮、内郷第三星力

☆綴方部　平第三増井義榮　内郷第三竹島國基、小川清野兵衛

七月十二日から 短縮授業

市内四小學校の七月分行事打合せ會は二十八日午後一時から第一校に開き七月十二日から三十日迄七時三十分開始短縮授業を行ふ事になつた。

戸別訪問で 罰金五十圓

内郷村内町金坂農馬目泰豐（三九）は八日執行された村會議員改選の際當選した鈴木多彌の事務長をしてゐるうち一日から三日迄村内の選擧人鈴木仙松外三名の戸別訪問を行つた廉で平區で罰金五十圓に處された。

内郷村で 水不足

内郷村綴御臺境、内町、宮御殿山、白水方面の水田は水不足のため漸く植付けを終つたが旱天のため稻は枯死せんとして居る狀態であり各農家はポンプ其他の方法によつて水掛けを行つて居る。

▲助成會總會

内郷村方面事業助成會の總會は七月三日午後一時から青年家政女學校内に開く筈。

▲窃盜犯人起訴

當時住所不定無職前科四犯遠藤勝己（三二）は植田署から送檢以來平檢事局の取調べをうけてゐたが、二十九日窃盜罪で起訴された、同人は去る五月一日から六月二十日迄八回に亘り宮城、福島兩縣を荒し廻り去る二十日午前二時頃錦村大字中田田邊エウ方に忍び込み現金四十五圓を盜んで捕はれたものである。

高級實用便箋
白梅便箋
忠孝便箋
文鳥便箋
名作便箋
金拾錢より
發賣元
文 魁文堂
電話3/3番

コンポーク
塩豚
平町田町
三二三屋
電話三二三番

四倉水道のおすゝめ

申込期間 六月一日ヨリ七月卅一日マデ（特典付）

一、道路の部分（配水鐵管の敷設してある處）町で負擔します
二、邸宅内給水管拾間迄は町の負擔とす
三、給水料は昭和十二年十月三十一日迄無料とす
四、設計手數料無料

☆詳細ハ本町臨時水道部ニ御問合下サイ

四倉町上水道部事務所
電話一番

〜青葉の頃〜
〜は美の様女貴〜

先づ
パルソルと
ハンドバック

—朗明の—その艶姿—その

店内に豊富陳列して御座います

ヤルツ
平　市
電〇四一番

祝 市制 紀念…特賣

野球 グローブ ミット
バット 新製品
ユニホーム
一チームはマークサービス
スパイク

各種運動服裝
競技用スパイク

平市田町銀座通り
大塚
電話七十七番

大ドライヤーを備えつけました。

『皆々様の化粧院』として常に御最負に預ります平驛前水野化粧院は昨年オゾン器を備えつけまして御滿足を受けましたが、更にこの度

『パーマネントセット』
『洗髪』『染色』

用として『ドライヤー』を設備致しました。ドライヤーを御使用になればパーマネントセットも洗髪も十分間以内に又どんな白赤毛でも五分とかゝらないうちに物見事に仕上ります。スピードを御好みの今日、どうぞ御利用下さいませ。尚ほ春のフエツシヤールマツサーヂ美顔術にはオゾン利用が第一で御座いますから、海に、山に、或ひは遠く御旅行なさる時、或ひは御歸りの際は是非御顔の御手當に『水野』へ御立寄り下さる事を御待ち申しております。

平驛前
水野化粧院
主 水野冬子
營業所 六七八番
自宅 五二五番

吸入冲洗器
純度 99%

寒暖計 体温器
マス ハカリ モノサシ

□秤ノ取繕・鉢巻・修覆致シマス（ハカリトリヲタマイトトリカヘ）
□寫眞機材料一式

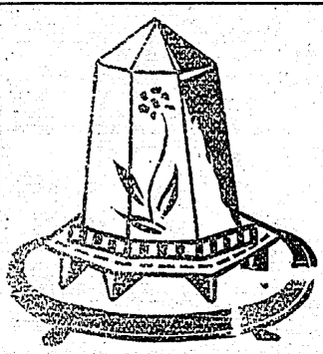
開内藥局
電話四〇番

▽暑中の御贈答に!! 宴席に!!

◎冷凍貝焼（大貝一個十二錢）

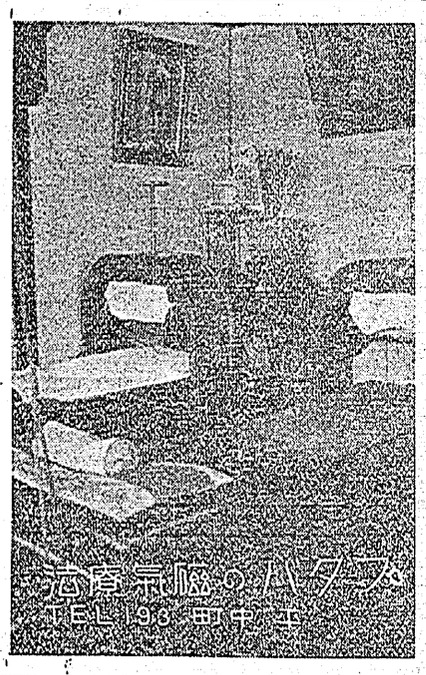
☆氷花☆
ベテーアイス券御利用下さい。
三回券花壺付
金壺四參拾錢

☆氷☆
☆六時間保つて
一個五十錢



◎氷は平製氷へ
電二二八・三一六番

配・達・迅・速・



食事
喫茶
酒場

イワキサロン

男給の店

平・田町
（電三五二）

平市田町（電話五一三番）

高久病院

院長 高久忠
副院長 赤羽清
藥局長 佐竹菊雄

内科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科　レントゲン科

◎氷は魚清!!
△△△△△
電話四六七番へ

平二丁目警察署通り
本店 魚清氷卸部
江名町築港内
支店 江名販賣所
電話六九番
（配達人數名至急入用）

外科一般　レントゲン科
内臓外科　泌尿器科

北川外科

平市新川町二七（諸橋醫院跡）
（血液檢査毎日）
イツデモ入院出來マス
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次
電話四六四番

□三百年の歴史を有する
家傳靈藥
馬相
ハンサキ消食散
一名かげの藥

代理店 平市大町 丸龜商店
電話一三三番